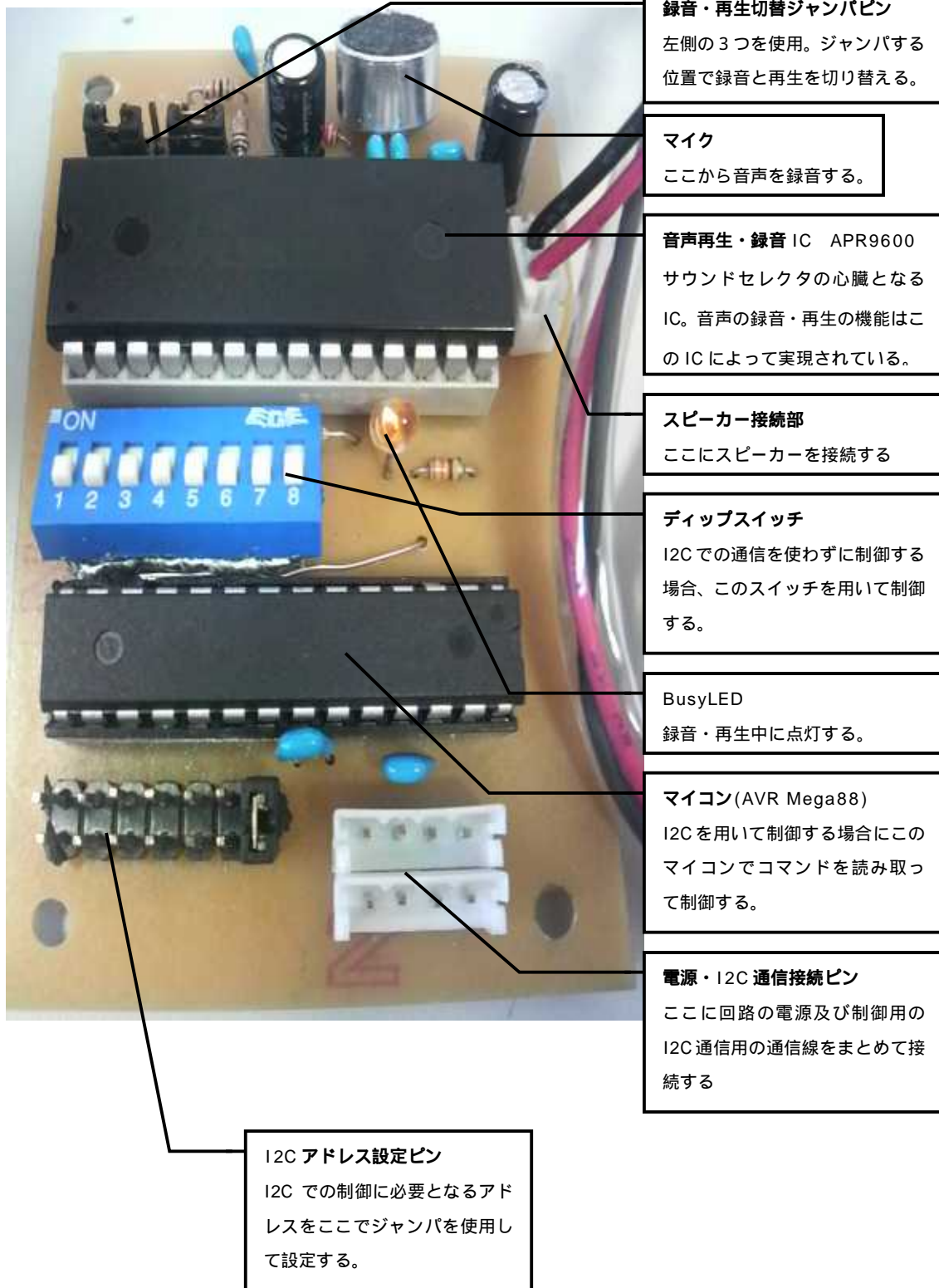


# サウンドセレクト 説明書

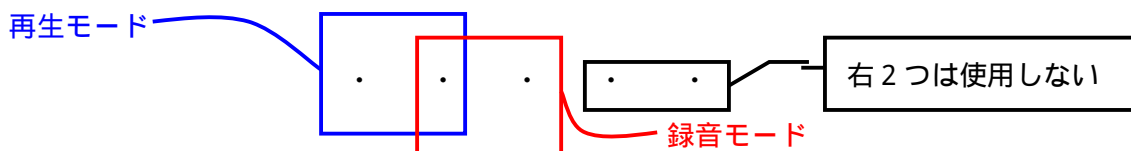
## 1 各部の説明



## 2 操作方法

### (1)録音・再生モードの切替

基板上部左側のジャンパピンのジャンパの位置によって録音モードと再生モードを切り替える。ジャンパピンのうち左側の3つを利用し、設定は以下のようになる



### (2)ディップスイッチの操作により制御する方法

基板中央にあるディップスイッチを操作することでサウンドセレクトの制御を行うことができます。ディップスイッチの番号がそのまま音声データの番号と対応しています。そのため、スイッチを ON にすると録音モードの場合は ON にしたスイッチの番号に音声を録音することができます。再生モードの場合は ON にした番号に録音されている音声データが再生されます。

注意：ディップスイッチにより制御を行う場合は必ず **AVR を外すかスイッチ操作モード(後述)**にして行うこと。ショート電流が流れて回路が壊れる可能性があります。

### (3)コマンドによって制御する方法

I2C による通信で制御する場合、次のようなコマンドを送る必要があります

ビット番号	Bit7	Bit6	Bit5	Bit4	Bit3	Bit2	Bit1	Bit0
データ	0	0	0	0	0	Data-bit2	Data-bit1	Data-bit0

コマンドのうち上位5ビットは使用しません。原則として0を送ります(後述のスイッチ操作モードにする場合を除く)。下位3ビットを10進数に直した場合の値の番号のディップスイッチを ON にした時と同様の動作をします。

Ex コマンド:00000101 5番のスイッチを ON にすると同じ動作

コマンド:00000001 1番のスイッチを ON にすると同じ動作

また、全ビットが1のコマンドを送るとスイッチ操作モードになります(この時に限り上位5ビットも使います)。このモードではディップスイッチの操作による制御を行うことができます。

### (4)録音・再生方法

#### 録音方法

ジャンパピンを録音モードにした状態にしてディップスイッチの操作もしくはコマンドに

よって APR9600 のデータ選択ピンを ON にすると選択した番号に音声を録音することができます。

録音はビープ音から次のビープ音までの間行われます。また、その間は BusyLED が点灯します

#### 再生方法

ジャンパピンを再生モードにした状態で録音と同じようにディップスイッチの操作もしくはコマンドによって APR9600 のデータ選択ピンを ON にすると選択した番号に記録された音声が再生されます。再生はデータ選択ピンを OFF にするまで繰り返し何度も行われます。また、コマンドで操作している場合、あるデータを再生中に別のデータの再生のコマンドを送ると即座に再生を中止し、後に送ったデータを再生します。

また、再生途中で全てのデータ選択ピンを OFF にすると、再生中のデータを再生し終わったところで停止します。また、再生中は BusyLED が点灯します。